

平成23年7月19日

高松市長 大西 秀人 殿

高松市香川地区地域審議会
会長 長尾 光喜



建設計画に係る平成24年度から26年度までの実施事業に関する
意見について

、盛夏の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、平成23年5月18日付け高地政第66号で依頼のありました、建設計画に係る平成24年度から26年度までの実施事業について、別紙のとおり当地域審議会の意見等を提出いたしますので、建設計画関連事業を含め、重点的・戦略的に推進する主要な施策・事業を取りまとめる「第3期まちづくり戦略計画」に、当該意見等を十二分に反映していただきますようお願い申し上げます。

建設計画に係る平成24年度から26年度までの
実施事業に関する意見について

1ページ

地区名：香川地区

番号	項目	意見の内容
1	特色あるスポーツ施設の整備促進について	<p>建設計画の重点取組事項である「南部地域の核となる特色あるスポーツ施設の整備地」については、「香南町岡地区空港関連事業用地に決定した」との認識に立って、早急に所有者と用地確保に向けて交渉を進め、早期に基本構想を策定願いたい。</p> <p>また、平成27年度までには必ず整備することを確約されたい。</p>
2	保育所の整備・および幼保一元化計画について	<p>大野地区の保育所および川東保育所等の改築を含めた基本構想については、平成23年度中に策定予定と聞いているが、南海地震など大きな地震では倒壊の恐れがあるので、速やかに取り組んでいただきたい。</p> <p>また、時代の流れは幼保一元化に向かっているように思われるが、これからは子どもたちや保育士の負担とならないよう、保育形態などに十分配慮した取り組みが必要である。</p>
3	公共下水道施設の早期整備について	<p>平成22年度末で、香川地区における公共下水道の整備状況を確認すると、計画面積の整備率が高松市全体では78.7%であるが、香川地区は極めて低く、50.9%であり、整備が大きく遅れている。水路、ため池、河川などに生活排水等が流入して汚濁が進み、特に夏場になると悪臭が発生する要因ともなっている。従って下水道整備の強力な促進を図り、下水道処理人口普及率を高め、生活環境の改善に努めていただきたい。</p> <p>なお、香川地域の公共下水道事業の強力な推進計画と進捗状況等について、適宜報告をお願いしたい。</p>
4	伝統文化の保存継承について	<p>農村民芸「ひょうげ祭り」や農村歌舞伎「祇園座」の保存活動および後継者育成に対して、引続き積極的な支援を要望する。</p> <p>文化的にも価値が高く、香川県の指定民俗文化財にもなっている農村民芸「ひょうげ祭り」や農村歌舞伎「祇園座」の保存・継承・後継者育成事業に対して、今後も高松市の貴重な文化財として、積極的な支援を要望する。</p> <p>また、現在、市のホームページや広報紙等へ「ひょうげ祭り」や農村歌舞伎「祇園座」の公演記事などを掲載し、インターネット等で全国への情報発信にも努めていただいているが、高松市の代表的な文化財として、ポスター等も提供しますので、近県へのPR等にもなお一層努力していただきたい。</p> <p>また、保存会独自でも県外の団体との交流を深めているので、更なる文化芸術の交流や効果的な情報発信を図るための支援を引続きお願いしたい。</p>

建設計画に係る平成24年度から26年度までの
実施事業に関する意見について

2ページ

地区名：香川地区

番号	項目	意見の内容
5	市道の整備について	<p>①市道向坂宮下線の早期整備 香川町南部地域の東部を縦断するように計画された大変重要な路線であることを認識いただき、沿線にある市営斎場「やすらぎ苑」や陶芸の里「ふれあい創作館」の利用活性化のためにも、三木綾川線までの延長整備事業を早期に計画・立案されたい。</p> <p>②市道山下横岡線の拡幅整備 平成23年度第1回の地域審議会で、市道下川原北線の進捗状況を見ながら対応していくとの説明であったが、今後交通量が増加することは明白であり、通学路でもあるので危険性も増大する。現在までは学生などの事故は起きていないようだが、起きてからでは遅いので事故を未然に防止するためには、拡幅整備について早期に計画・立案されたい。</p>
6	高松市民病院附属香川診療所機能の確実な維持について	<p>平成22年10月1日に、香川分院から香川診療所に移行したばかりであるが、平成23年6月には常勤医師1名が辞職し、非常勤医師での対応を余儀なくされている。本当に新病院開院まで診療所が維持できるのか疑問である。市長からも確実に維持するとの答弁をいただいているが、現体制より悪くならないよう、市民病院から応援医師を派遣するなどして診療体制の確保に努めていただきたい。</p>
7	建設計画の進捗および特例債の活用状況について	<p>平成22年11月29日に開催された香川地区地域審議会では、建設計画（まちづくりプラン）の取り組み状況に関する資料が示されているが、進捗状況と今後実施予定の事業等が不透明である。もう少し分かりやすい資料をもって明確にさせていただきたい。</p> <p>また、残された期間で合併特例債を最大限に活用願いたいので、現在までの活用状況と今後の活用計画を明示願いたい。</p>
8	防災行政無線屋外スピーカーの増設と戸別受信機の整備について	<p>防災行政無線については、デジタル化への移行に伴い平成24年度から工事に着手予定とのことであるが、現在の戸別受信機については平成25年度からは利用できなくなると聞いている。とりわけ山間部においては独居世帯も多く高齢化も進んでおり、また災害も発生しやすいことから屋外放送が聞き取りにくい地域等の把握に努め、スピーカー増設の必要性について早急に検討されたい。</p> <p>また、今後デジタル化に対応した新たな戸別受信機の設置については、現時点では考えていないとのことであるが、設置希望者にはできるだけ安価で利用しやすいものを提供できるように機種選定等を急ぎ、デジタル化に対応した戸別受信システムの構築をお願いしたい。</p>